

げんさい 減災くん PLUS

取扱説明書 工事説明書



◆この度は、本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

LET'S corporation



V1.08

目 次

1. はじめにお読みください	3
2. 本装置を使用するための準備	4
2. 1 必ずお読みください	4
2. 2 本装置の接続前に.....	8
2. 3 ご利用の前に再確認	8
3. 製品構成	9
4. 各部の名称と説明	10
4. 1 正面の説明	10
4. 2 側面の説明	11
5. 装置の接続及び調整	12
5. 1 接続時の注意事項.....	12
5. 2 本装置の設置.....	12
5. 3 回線の接続	13
5. 4 動作確認及び運用モード変更.....	15
5. 5 警報音・音声・表示について.....	17
5. 6 スピーカー音量の調整.....	17
5. 7 外部出力について.....	18
5. 8 テストボタンについて.....	19
5. 9 配信テストについて	20
6. 主な仕様	21
7. 深発地震に関してのご注意事項.....	23

1. はじめにお読みください

このたびは、減災くんPLUS（以降、本装置と記述）をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

この説明書を良くお読みいただき、本装置の機能を十分発揮できますように正しくお取扱い、運用いただきますようお願い申し上げます。この説明書は保証書、付属品と共に大切に保管してください。

■ 免責事項 ■

- 本装置及び付属品の使用により生じた金銭上の障害逸失利益又は第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本装置及び付属品は、改良の為予告なしに変更することがあります。
- 本装置の故障、誤動作、不具合あるいは停電等の外部要因によって、通信等の機会を逸したため生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 配信システムおよびその他の障害等により、地震情報の配信遅延または欠落したために発生した、いかなる損害についても責任を負いかねます。また、配信した地震情報の内容のために発生したいかなる損害についても責任を負いかねます。

改良、改善などのため予告なく仕様及びそのほかの変更を行うことがありますのであらかじめご了承ください。

2. 本装置を使用するための準備

2. 1 必ずお読みください

この取扱説明書は、本装置の取扱方法および各機能の操作方法について説明しています。

●安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品の表示では、製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、様々な絵表示をしています。その表示と意味は次の様になっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お願い

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮されないほか、機能停止をまねく恐れのある内容を示しています。

絵表示の例



●記号は禁止の行為であることを示しています。

図の中に具体的な禁止内容（左図は湿度の高い場所への設置禁止）を示しています。



●記号は禁止の行為であることを示しています。

図の中に具体的な禁止内容（左図は火気のそばへの設置禁止）を示しています。



●記号は禁止の行為であることを示しています。

図の中に具体的な禁止内容（左図は分解禁止）を示しています。



●記号は禁止の行為であることを示しています。

図の中に具体的な禁止内容（左図は電源プラグをコンセントから抜く行為）を示しています。

注意事項

■設置場所について

警告

●湿度の高い場所への設置禁止

風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。
火災・感電の原因となります。



●火気のそばへの設置禁止

本装置や電源コードを熱器具等の発熱する物に近づけないでください。カバーや電源コードの被服が溶けて、火災・感電・故障の原因となることがあります。



●湿度の高い場所への設置禁止

直射日光の当たるところや、湿度の高いところに置かないでください。
内部の温度が上がり、火災の原因になることがあります。



●油飛びや湯気が当たるような場所への設置禁止

調理台のそば等油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電となることがあります。



注意

●不安定な場所への設置禁止

ぐらついた台の上や傾いたところ等、不安定な場所に置かないでください。
また、本装置の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因になることがあります。



●通風孔をふさぐことの禁止

本装置の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。次のような使い方はしないでください。

- ・じゅうたんや布団の上に置く
- ・ブルクロスなどを掛ける
- ・棚や本棚などの風通しの悪い狭い場所に押し込む



お願い

●本装置を正常にまた安全に使用していただくために、次のようなところへの設置は避けてください。

- ・ほこりや振動が多い場所
- ・ラジオやテレビ等のすぐそばや、強い磁界を発生する装置などが近くにある場所

■使用について

(1) もしもこんなときは・・・

警告

●発煙への対処

万一、煙が出ている、変な臭いがする等の異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本装置の電源プラグを抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、ご購入店か当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



●水が装置内部に入った場合の対処

万一、内部に水が入った場合は、すぐに本装置の電源プラグを抜き、ご購入店か当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

●異物が装置内部に入った場合の対処

本装置の内部に金属類や燃えやすい物等の、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本装置の電源プラグ抜き、ご購入店か当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

●電源コードが傷んだ場合の対処

電源コードが傷んだ状態（芯線の露出・断線等）のまま使用すると、火災・感電となります。すぐに本装置の電源プラグを抜いてご購入店か当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

(2) 電源について

警告

●商用電源以外の禁止

AC100V家庭用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。また、やむを得ず同じ電源コンセントに他の電気製品の電源プラグを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災・感電の原因となります。



●電源コードの取扱注意

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、加熱したりすると電源コードが損傷し、火災・感電の原因となります。



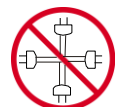
●ぬれた手での操作禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。



●たこあし配線の禁止

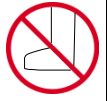
テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、たこあし配線はしないでください。火災・感電の原因となります。



⚠ 注意

●乗ることの禁止

本装置に乗ったり、こしかけたり、すわったり、よりかかったりしないでください。
特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
倒れたり、こわれて怪我の原因となることがあります。



(3) 禁止事項について

⚠ 警告

●改造の禁止

本装置を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。



●ぬらすこと of 禁止

本装置内部に水を入れたり、ぬらさぬようにご注意ください。
火災・感電の原因となります。



●異物を入れないための注意

本装置の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、
または小さな金属類を置かないでください。
こぼれたり、中に入った場合は火災・感電の原因となります。



(4) その他のご注意

⚠ 注意

●雷のときの注意

雷が発生した際は、電源プラグ及びモジュラーコードに触れないようにしてください。
感電の恐れがあります。



●電源プラグ周りの清掃

電源プラグとコンセントの間のほこりは定期的に（半年に1回程度）に取り除いて
ください。火災・感電の原因となることがあります。



●長期不在のときの注意

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いて
ください。

●使用期間

本装置の対応年数は、使用開始日から6年です。

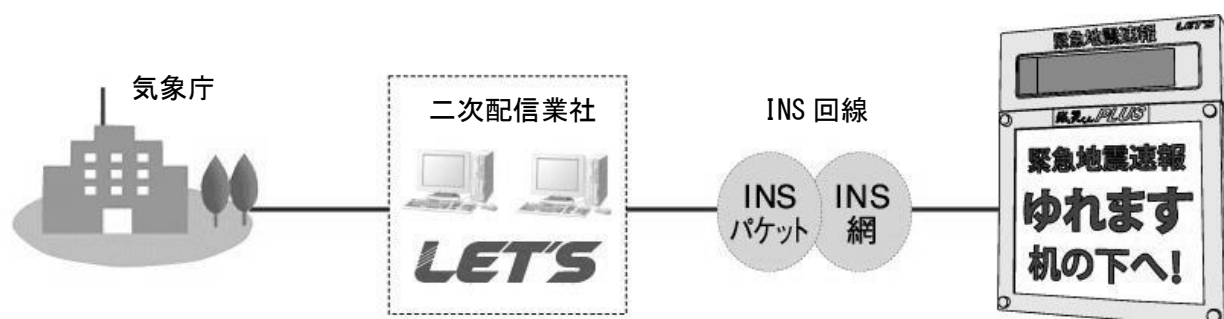
2. 2 本装置の接続前に

本装置は屋内での利用を目的とした装置となります。屋外での使用は絶対になさらないでください。本装置の重量は約4.5kgとなります。そのため、設置時におきましては転倒や落下しない安定した場所に設置してください。また、高い位置に設置する場合は何らかの転倒落下防止対策を行うなどしてください。

本装置をテレビ・ラジオなどの受信機を近くに設置すると、受信障害を起す場合があります。本装置を設置する場合はそれら受信装置から1メートル以上離してください。

本装置は、受信した緊急地震速報により、直ちに警報音や音声並びに高輝度フラッシュ（赤色）によって周囲に注意喚起を促すための装置になります。

<システム構成例>



2. 3 ご利用の前に再確認

- 本装置は、INSネット64回線用になります。アナログ回線には接続できません。
また、INSネット64回線のポケット通信サービスに契約されている必要があり、事前にお申し込みが必要になります。
- 本装置はP-P/P-MPどちらも対応しております。
- 本装置の電源をオフ時は、回線側U点と端末側U点が直結の状態になり、通話はできますが、緊急地震速報の情報受信はできません。
- 本装置はDSUを内蔵しています。
- ビジネスホン主装置やPBXの内線には接続できません。
- 本装置は接続するINSネット64回線の線路条件が仕様と異なる場合、設置できない可能性があります。
- セキュリティ回線、代表の先頭回線及びファックス使用回線には取り付けないようにしてください。
- INS回線の接続を変更した場合などは、必ず本装置の電源のOFF/ONを行ってください。

注意

本装置は蓄積ダイヤル方式（一時的にダイヤル番号を記憶してから順次送出行います）で動作します。発信時には接続に通常より時間がかかります。

3. 製品構成

ご使用前に梱包されている内容をご確認ください。

万一、不足しているものがございましたら、お手数ですがお買い上げの販売店
または弊社までご連絡ください。

本装置（壁掛け用金具を含む）	1台
取扱説明書・工事説明書（本書）（保証書含む）	1冊



本装置



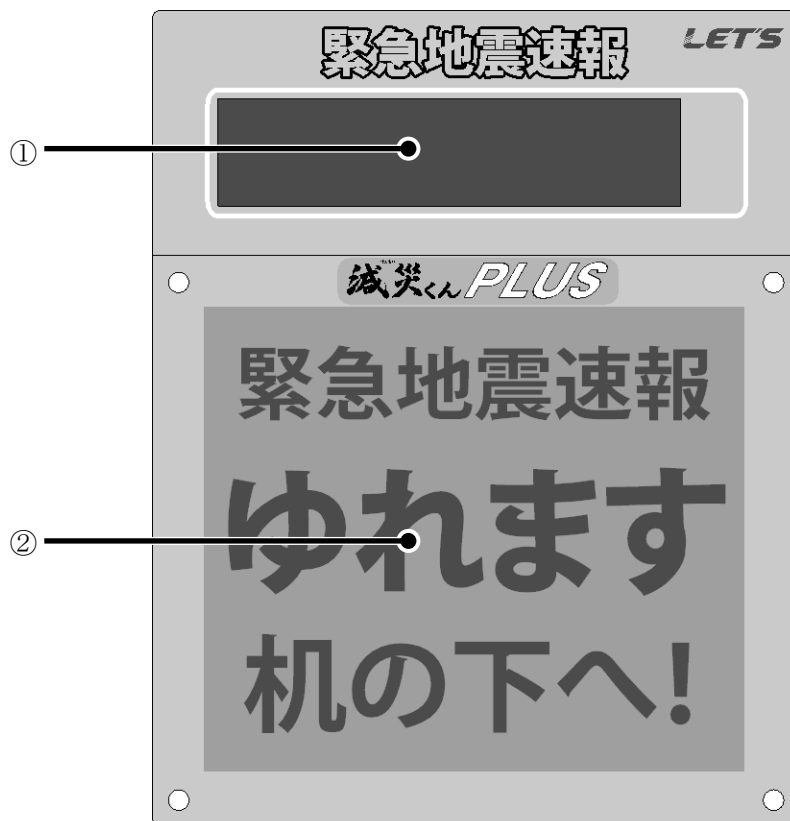
壁掛け用金具



取扱説明書・工事説明書（本書）

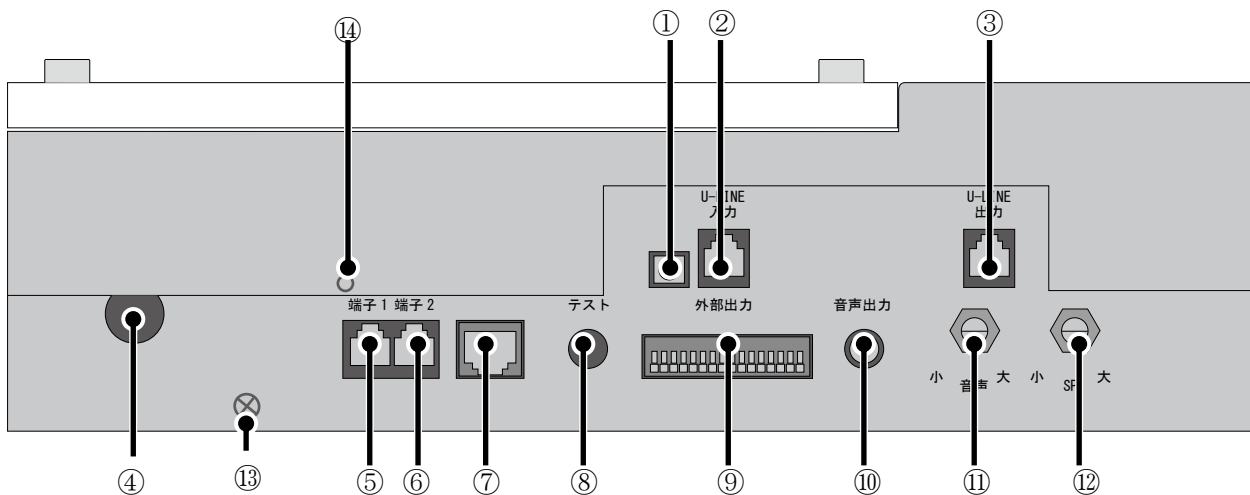
4. 各部の名称と説明

4. 1 正面の説明



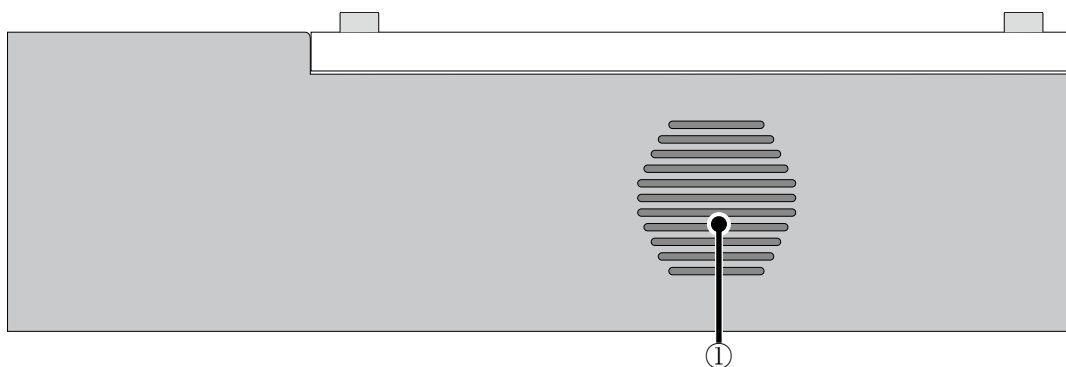
No	名称	説明
①	表示パネル	“震度”などのメッセージが表示されます。
②	警告灯	緊急地震速報を受信すると赤色点滅により警告します。

4. 2 側面の説明



No	名称	説明
①	FG端子	通信用のアース端子になります。
②	U-LINE入力端子	回線側のU点を接続します。
③	U-LINE出力端子	端末側のU点を接続します。
④	電源コード	スイッチ付き電源をコンセントに差し込みます。
⑤	RS-485端子1	本装置を複数台設置する際、6極4芯ケーブルを接続します。
⑥	RS-485端子2	本装置を複数台設置する際、6極4芯ケーブルを接続します。
⑦	イーサネット	本装置では使用しません。
⑧	テストボタン	押下により擬似的な緊急地震速報を表示します。
⑨	外部出力端子	無電圧A接点出力の端子になります。
⑩	音声出力端子	内蔵音声を取り出すライン出力になります。
⑪	音声出力音量つまみ	音声出力端子から出力する音量を調整します。
⑫	内蔵スピーカー音量つまみ	内蔵スピーカーから出力する音量を調整します。
⑬	アース端子	筐体アースを接続します
⑭	回線状態表示LED 注1	電話回線が正常に接続され同期確立した際に点灯となります。

注1：本体の設定がS(子機)の場合は点灯しません。



No	名称	説明
①	スピーカー	音声が出力されます。

5. 装置の接続及び調整

5.1 接続時の注意事項

- 本装置に回線を接続するときは、本装置の電源プラグを抜いてください。
- 本装置が対応している回線は、INSネット64のみとなります。
デジタル専用線やアナログ加入回線等ではご使用できません。
- 本装置はターミナルアダプタではありませんので、アナログ端末は直接接続できません。
- 本装置のFG端子にはアース線を接続してください。
- U-LINE入力端子には、必ずINS回線用のU点を接続してください。誤ってアナログ加入回線等を接続すると、異常発熱や本装置が故障する場合があります。
- U-LINE出力端子に通信端末が接続される場合は、本装置の設定が必要となります。
- 本装置のアース端子にて筐体アースを接続してください。

5.2 本装置の設置

●据え置きに設置する場合

電話設備の上、ラックなどに置いて下さい。

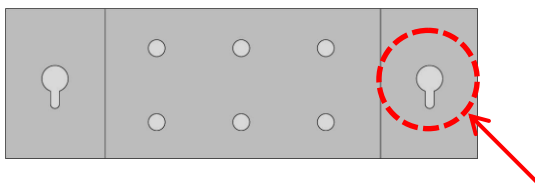
※ 電話設備の上に置く場合は電話設備の放熱を考慮して下さい。

※ 転倒防止策を施して下さい。

●壁面に設置する場合

添付の壁掛け金具を壁面にしっかり固定してください

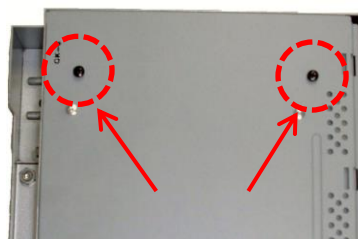
※ だるま穴の小さい方が下になるように取り付けてください。



だるま穴の小さい方が下向き

本装置背面のネジ【黒】をだるま穴に引っ掛けて固定して下さい。

※ 背面のネジにゆるみがある場合は増し締めしてから固定して下さい。



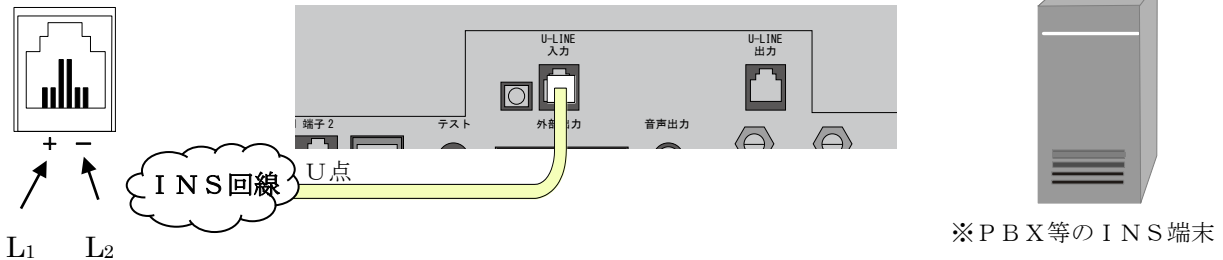
このネジを金具のだるま穴に引っ掛けます

5.3 回線の接続

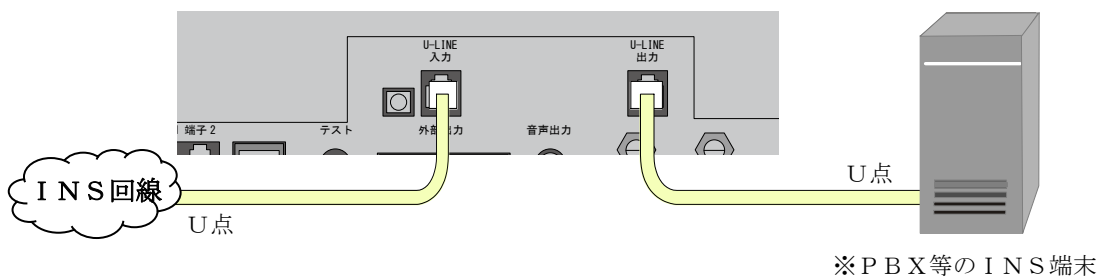
◆電話回線を電話設備と併用で使用する場合

①INS回線をU-LINE入力端子に接続します。

(※U点への回線極性はL₁を+ (プラス)、L₂を- (マイナス) で接続してください。)



②PBX等とU-LINE出力端子を接続します。



※電源投入後、回線状態表示LEDが点滅し回線及び電話設備との接続処理を開始します。

回線及び電話設備との接続が正常に終了した場合、回線状態表示LEDが点灯となります。

※回線状態表示LEDが点滅のままの場合、回線及び電話設備との接続が正常に終了していません。

配線などを確認して下さい。

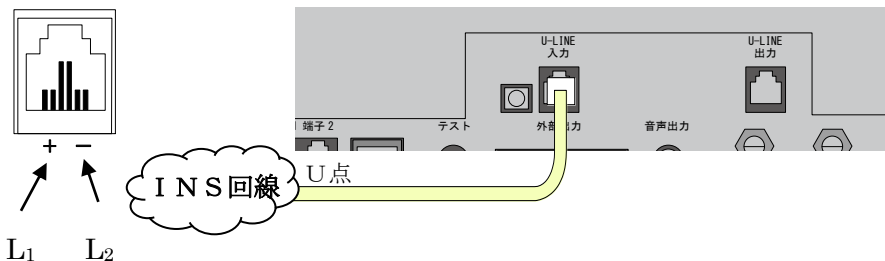
◆電話回線を専用で使用する場合

※電話回線を専用でされる場合は本装置モード変更が必要です。

設定方法は「5.4 動作確認及び運用モード変更」を参照してください。

①INS回線をU-LINE入力端子に接続します。

(※U点への回線極性はL₁を+ (プラス)、L₂を- (マイナス) で接続してください。)



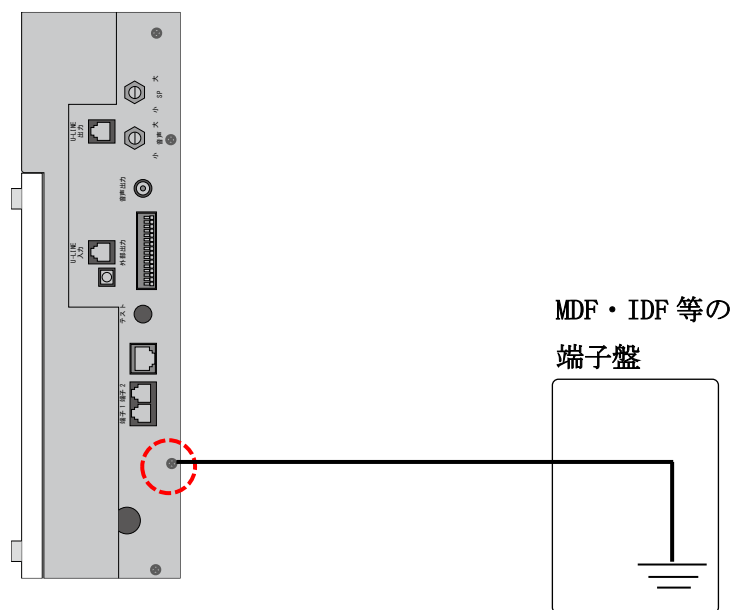
※電源投入後、回線状態表示LEDが点滅し回線との接続処理を開始します。

回線との接続が正常に終了した場合、回線状態表示LEDが点灯となります。

※回線状態表示LEDが点滅のままの場合、回線との接続が正常に終了していません。

配線などを確認して下さい。

◆筐体アースの接続

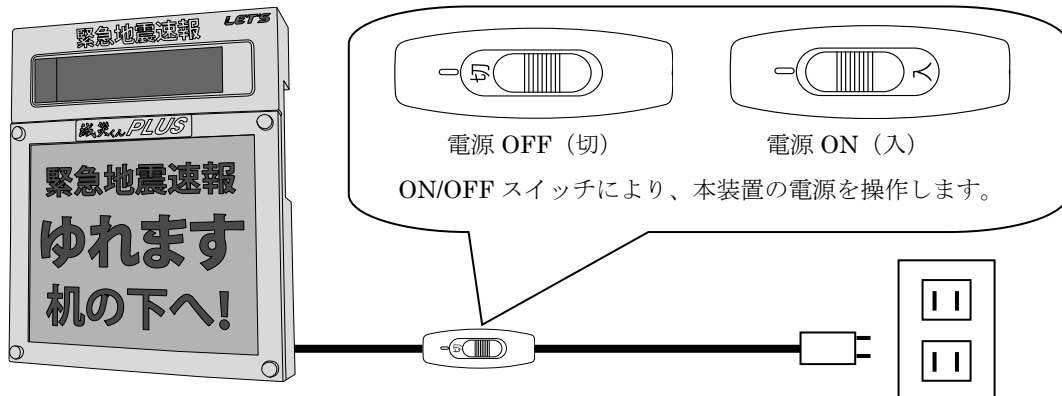


①本装置右側面にあります丸印の部分のネジにアース線を接続してください。

5. 4 動作確認及び運用モード変更

◆動作確認

①電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチのON/OFFスイッチを「入」にします。



②画面が「Checking. . .」続いて「WELLCOME m1」の表示になりメッセージのスクロール画面となります。

◆モード変更

①本体の電源を OFF にしテストボタンを押下しながら電源をONにします。

②画面に「Checking. . .」が表示され警告灯が点灯したらテストボタンを離します。

※警告灯は自動的に消灯します。

③「Checking. . .」が消灯し「WELLCOME ○○」の表示後、本体の電源のOFF/ONを行います。

※モードの変更後の電源のOFF/ONは必ず「WELLCOME ○○」の表示後に行ってください。
「WELLCOME ○○」の表示前もしくは表示中に電源のOFF/ONを行った場合は
設定が反映されません。

表 示	状 態
WELLCOME m1	親機 電話設備の接続 有 (初期値)
WELLCOME m2	親機 電話設備の接続 無
WELLCOME s	子機

◆センターでの接続確認及びアラーム受信確認試験

①弊社センターまでご連絡を頂き緊急地震速報装置のテストであることを伝えて下さい。

センターの電話番号【052-209-7860】

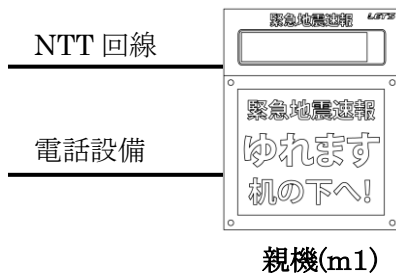
②センター側で正常接続確認後、本装置の電源OFFにし、センター側にてアラーム受信する事を確認して下さい。

③センター側にてアラームの確認後、電源をONにし、センターにて復旧することを確認して下さい。

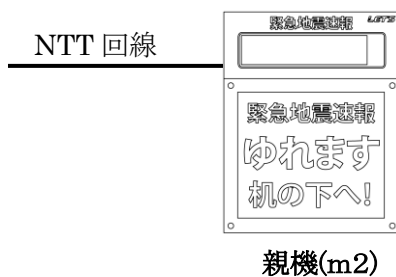
参照資料

本体運用モードの設定方法及び接続方法

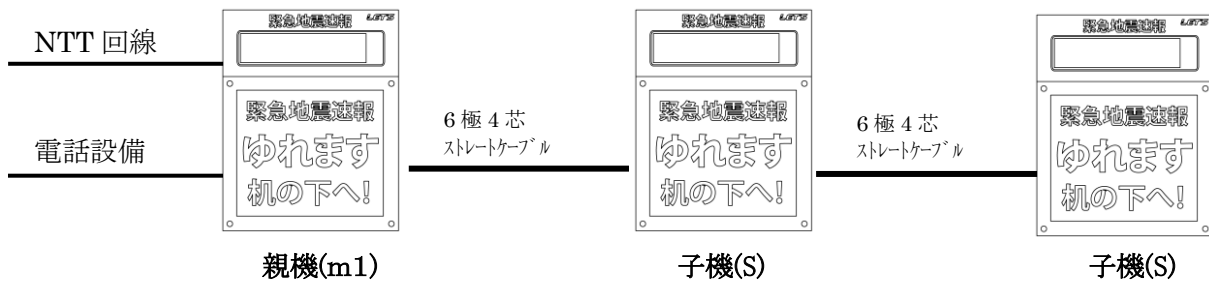
■ 電話回線を電話設備と併用で接続し本体を1台のみ設置する場合



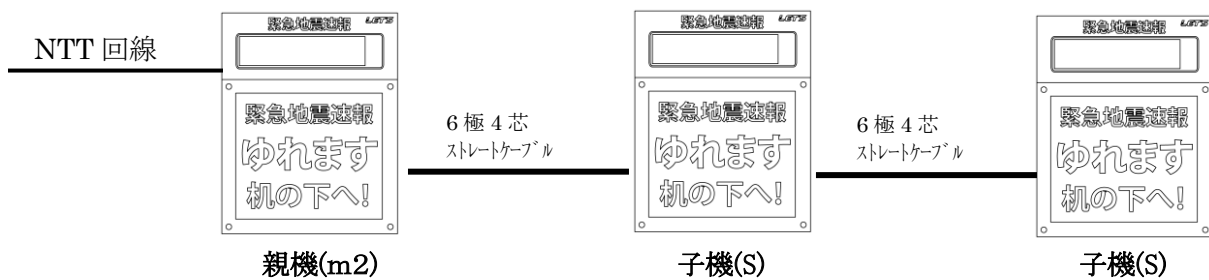
■ 電話回線を専用で接続し本体を1台のみ設置する場合



■ 電話回線を電話設備と併用で接続し本体を複数台設置する場合



■ 電話回線を専用で接続し本体を複数台設置する場合



5. 5 警報音・音声・表示について

本装置は緊急地震速報を受信すると、警報音と音声及び高輝度フラッシュ（赤色）により注意喚起を促しますが、緊急地震速報と警報音、音声の主な関係につきましては次の通りになります。

状態	(警報音)・音声	表示パネルの表示内容
緊急地震速報を受信	(警報音) 緊急地震速報。 地震が来ます。震度 x。 強い揺れに備えてください。 y 秒後に地震が来ます。	z 秒 震度 x
	まもなく揺れます。強い揺れに備えてください。	z 秒 震度 x
	揺れが収まるまで注意してください。	揺れが収まるまで注意してください
緊急地震速報の誤報を受信	ただいまの緊急地震速報は誤報でした。地震の心配はありません。	誤報です
待機状態	(なし)	標語の表示 「考えよう数秒間でできる事」 「命をまもるおしらせ」 「9月1日は防災の日」
x (震度) : 1、2、3、4、5弱、5強、6弱、6強、7		
y (到達までの時間音声) : 10、20、30、40、50、60、70、80、90		
z (到達までの時間表示) : 1～ (1秒間隔で表示)		

5. 6 スピーカー音量の調整

内蔵スピーカー音量つまみを回し、音量を調整します。左回しで音量が小さくなり、右回しで音量が大きくなります。



※「テストボタン」を押すと、音声出力端子と本装置スピーカーの両方からテスト報が流れますのでご注意ください。また、外部出力接点も本動作と同じ動きを行いますので、ご注意ください。

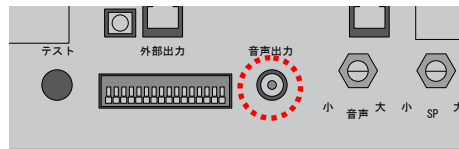
※外部出力機器を接続する場合は、外部出力機器との音量調整も行なってください。

5. 7 外部出力について

本装置は、警報音などを取り出せる音声出力端子と接点出力5接点とを持っています。本装置の接点は無電圧A接点になります。(通常時はオープン状態である接点のこと) 接点に極性はありません。

■音声出力端子【RCA端子・モノラル出力】

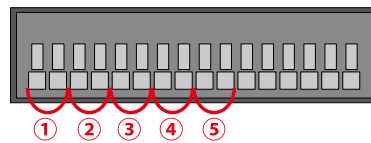
- ・音声は、音声出力端子と外部出力機器の音声入力端子を接続してください。



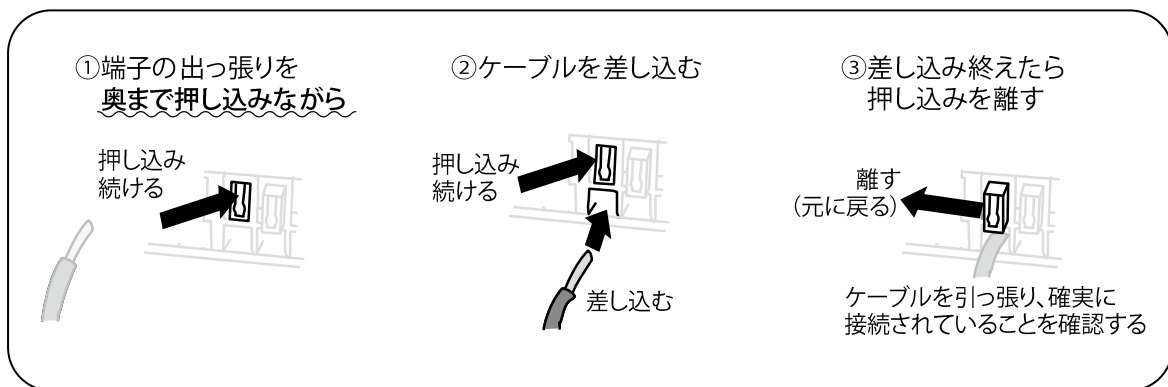
- ※ 音声出力の大きさは「音声」のボリュームにて調整可能です。
- ※ 音声出力は優先順位の高い端子に接続して下さい。
- ※ 通報範囲は放送設備でシステム設定されている可聴範囲と同範囲となります。

■接点出力【無電圧A接点】

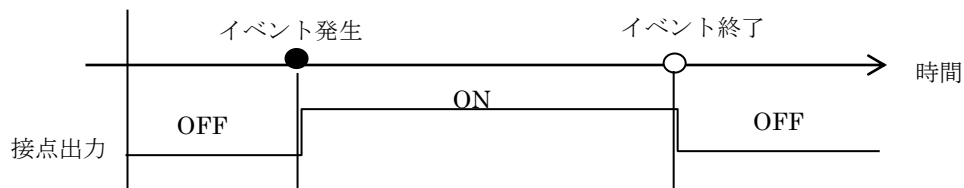
- ・放送設備等の外部制御としてご利用できます。
- ※ 放送設備と接続の場合、外部制御の優先順位が高い端子に接続して下さい。



- ・外部出力端子へのケーブルの差し込みは、以下の手順で行います。



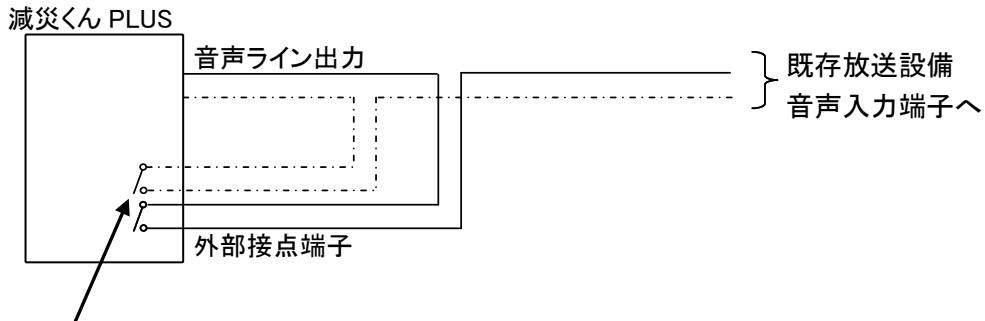
接点出力とイベントの関係



- ※ 接点は5接点が同時に動作します。

■放送設備及び電話設備との接続において

既存構内放送設備及び電話設備との接続時、外部接点出力による起動を行わない場合は下図のように接続して下さい。

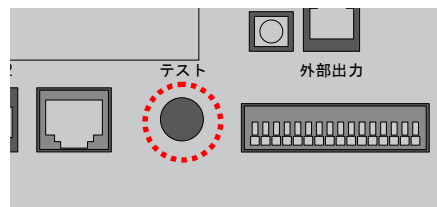


減災君 PLUS 作動時に接点がONとなり、音声ケーブルが接続され放送設備より音声が流れます。

5. 8 テストボタンについて

テストボタンを押すと、内蔵スピーカーと音声出力端子に対して緊急地震速報が流れます。流れる音声や本装置の動き（外部出力の接点など）は実際の動きと同じになります。

（ただし、緊急地震速報の震度は「震度5弱」固定、到達予想秒数は「約20秒」固定になります。）



※「テストボタン」を押すと、音声出力端子と本装置スピーカーの両方からテスト報が流れます。外部出力機器が接続されていると、外部出力機器に対しても動作を行いますのでご注意ください。

※テストボタンを押下することで、センターとの疎通確認の前に放送設備と連動した音声確認を行うことが可能です。

5. 9 配信テストについて

テストボタンによる放送設備等との音声確認後、弊社センターまでご連絡頂き緊急地震速報の配信テストを実施してください。

弊社より表示部にテストコマンド（文字）を配信します。

※ 表示部にテストコマンドが表示されるのを確認して下さい。

確認後、弊社より緊急地震速報をテストとして配信しますので本装置での表示・音声の確認・放送設備等附帯設備での動作確認をして下さい。

※ テストは震度5強の地震が30秒後に発生することを想定しています。

その後は注意を促すメッセージが30秒間流れます。

※ 現状で他の放送(電話ページング・定時刻チャイム等)を使用している場合は、他の放送より優先して放送されることを確認して下さい。

・センター電話番号 052-209-7860

配信テストであることを伝えてください

●減災くんプラスの活用

減災くんプラスのテスト配信を避難訓練等に利用できます。

テスト配信申込書に記入の上、FAXにて送信してください。

6. 主な仕様

項目	仕様	備考
回線制御部		
収容回線数	1回線	
収容回線種別	INS回線	
起動方式	常時	
制御方式	呼制御、パケット制御	
インタフェース形態	PP/PMP対応	
インタフェース仕様	JT-I430、JT-G961 準拠	TTC標準
インタフェース構造	2B+D	(B: 64kbps、D: 16kbps)
接続方式	RJ-11 モジュラープラグ	(U点)
線路損失等化能力	最大 50dB	(Φ0.5mmケーブル周波数 160kHzにおける値)
直流ループ抵抗	最大 1500Ω	
端末制御部		
接続端末数	1 端末	
擬似回線種別	INS回線相当	
擬似回線インタフェース	U点 (PP・PMP)	
制御方式	呼制御、パケット透過	
対応起動方式	呼毎/常時端末に対応	
インタフェース形態	PP/PMP対応	
インタフェース仕様	JT-I430、JT-G961 準拠	TTC標準
インタフェース構造	2B+D	(B: 64kbps、D: 16kbps)
接続方式	RJ-11 モジュラープラグ	(U点)
線路損失等化能力	最大 50dB	(Φ0.5mmケーブル周波数 160kHzにおける値)
直流ループ抵抗	最大 810Ω	
表示部		
表示数	1	
種類	蛍光表示管	
表示区分	グラフィック表示	
画面サイズ	149.8mm×28.6mm	
ドット数/ドットピッチ	240dot×36dot/0.8mm×0.625mm	
発光色/輝度	緑 (λ=505nm) / 400cd/m ² (Typ)	
表示種	漢字 (第一、第二水準)、英数字	
文字表示サイズ (全角)	32dot×32dot	
スクロール	表示エリア外情報は左から右へ スクロール表示する	

項目	仕様	備考
警告灯部		
点灯方式	LED 発光 発光色：白色	
汎用出力		
ライン出力	ライン出力 -20dBv ~ 0dBv (ボリューム調整可能)	RCA 端子 平衡 600Ω
接点出力	リレー接点×5 (無電圧 A 接点) 制御電圧 DC24V、制御電流 1A	一括出力
電源		
電源範囲	AC100V±10V 50/60Hz	
消費電力	公称値 待機中：20W以下 警報中：30W以下	警報中は音声レベルや内容により変動
環境条件	温度：5～45℃ 湿度：20～60%	結露無きこと
外形寸法	250 (W) × 315 (H) × 87 (D) mm	
本装置重量	約 4.5 kg	

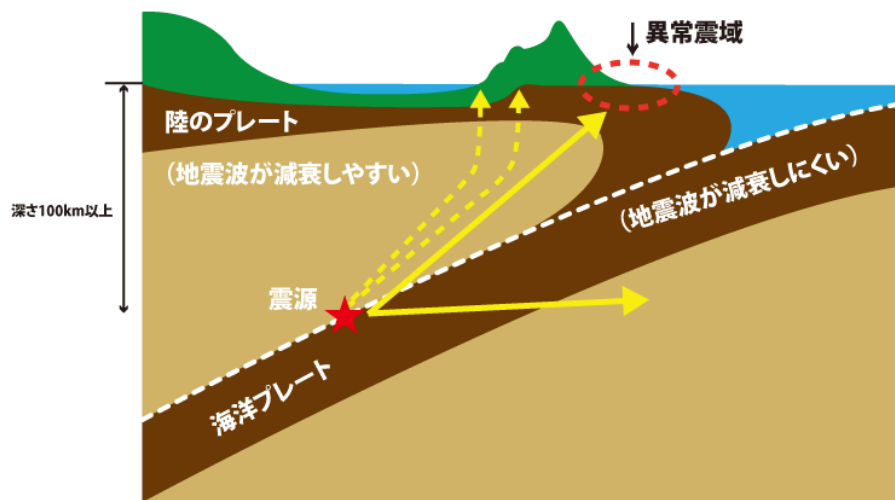
7. 深発地震に関してのご注意事項

深発地震の場合、震度の予想精度は十分ではありません。

深発地震（深さ 100 km 程度より深い場所で発生する地震）では、沈み込むプレートに沿って地震波が伝わりやすいという性質が顕著に現れるので、震源の直上より震源から離れた場所で揺れが大きくなることがあります（異常震域）。

また、現在、震度の推定に用いている経験式を深発地震に適用すると、実際よりも大きく計算されるなどの問題もあり、深発地震では正確な震度の推定は困難です。

なお、1 あるいは 2 観測点のデータを使っている段階では、深発地震であっても常に震源の深さを 10 km に仮定して震度を推定するので、この場合も震度の推定に大きな誤差が発生することがあります。



これにより、弊社が計算、配信します緊急地震速報においては、条件によっては十分な精度でないものが配信される場合があることをあらかじめご承知おきください。

また、ご利用ユーザー様におきましても、このことを想定に入れたご利用方法にてお願いいたします。なお、震源の深さが 150 km より深い場合は、弊社から緊急地震速報の配信はいたしません。

以上につきまして、ご理解の上、ご利用いただきますようお願いいたします。

製品保証書

型番	製造番号
お買い上げ日	年 月 日
保証期間	(お買い上げ日より)
郵便番号	〒□□□□□□
ご住所	TEL
ご会社名	様 TEL
ご担当者名	TEL
代理店	TEL
住所	TEL
氏名	TEL
営業所名	営業所
住所	
担当者	

この製品は下記の通り保証いたします。

- この製品は、厳密な品質管理と検査を経てお届けしたものです。保証期間内に、異常な使用状態において万一故障した場合には、1年間無償で修理いたします。
- 修理は当社営業所・サービスセンターに、必ずご提示の上お申しつけください。
- 無償修理期間内にも、下記に記載する項目に該当する場合は有償修理となります。この保証書は、本国内においてのみ有効です。(This Warranty is valid in JAPAN)
- この保証書は、大切に保管ください。
- 保証書に印鑑なきものは無効です。



LETS

今、求められるニーズを

株式会社 **LETS** コーポレーション

次の場合には有償修理となります。

- 使用上の誤り、不当な修理や改造による故障および損傷。
- お買い上げ後の搬送、移動、落下等による故障および損傷。
- 付属機器、回線、故障および損傷。
- 火災、風水害、地震、雷その他の天災地変および異常電圧、指定外の使用電源（電圧・周波数）などによる故障および損傷。
- 特殊環境（たとえば極度の湿気、塩害、ガス害、公害、塵埃、極寒など）による故障および損傷。
- 保証書のご提示がない場合。
- 保証書の紛失あるいは所定事項の未記入または字句を勝手に訂正された場合。

※仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。